

東京学芸大学国語教育学会
2022年度 第3回例会のご案内

相変わらずの猛暑続きですが、朝夕には少しだけ秋の涼しさが感じられるようになりました。会員の皆様、いかにお過ごしでしょうか。夏休みを終え、第3回の例会のご案内をすることになりました。今回の例会でも、50周年記念事業としての出版に向けて、いくつかのグループより報告があります。今後の取り組みについても、会員の皆様のご協力どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長 上田真也〔東京学芸大学附属大泉小学校〕

研究主題 思考力・想像力を育てる言葉の学び

日時 2022年9月10日(土) 14:00~17:10

会場 ZOOM 会議室 (オンライン)

ミーティング ID 832 6209 9528

セキュリティパスコード Qb9aeu

<https://us06web.zoom.us/j/83262099528?pwd=U0tjWWN5MVlOKzBRc253N0ttSUptUT09>

時程	14:00~	開会
	14:10~15:00	研究発表①「解釈の多様性チーム」
	15:10~16:00	研究発表②「登場人物チーム」
	16:10~17:00	研究発表③「考えの形成・共有(他作品の比較)チーム」
	17:00~17:10	事務連絡 閉会

1 解釈の多様性チーム

本チームでは、小学校低学年、中学年、高学年、中学校、高校という5名の実践者で協議を進めてきました。それぞれの実践者たちが、互いの言葉や実践記録に触発され、どのような考えに至ったのか、チームの思考の流れを中心に提案したいと考えています。時間の都合上、全ての実践を紹介はできないと思いますが、各実践は以下の通りです。

①: 今村行 小1「おむすびころりん」 ②: 吉野竜一 小4「一つの花」 ③: 土屋晴裕 小5「名前つけてよ」
④: 愛甲修子 中学校「少年一海」 ⑤: 森安惟澄 高校「羅生門」

2 登場人物チーム

著書原稿プロットを要約して発表します。

- ①: 成家雅史 ・テーマ設定の趣旨 ・メンバーにおける課題意識 ・実践構想
- ②: 大村幸子 ・小学2年生「きつねのおきやくさま」の実践
- ③: 数井千春 ・中学2年生「夏の葬列」の実践
- ④: 川上 ・高校3年生「こころ」の実践
- ⑤: 成家雅史 ・まとめ ・用語について 「行動」「心情・気持ち」「人物像」「生き方」

3 考えの形成・共有(他作品の比較)チーム

本チームでは、小学校低学年、中学校、高校、大学の5人のメンバーで、「他作品の比較」ということがどのように「考えの形成・共有」に結びついていくかを検討し、協議を進めてきました。12年間の系統性という点では、「虚構と現実」という点に着目し、このねじれがうまく積み重ねていくという視点で系統性を検討できないかを考えていきました。他作品の比較については、その効果の一つに相対化ということを挙げます。そこから考えの形成・共有にいたるには、教わって読めることや1つの作品解釈だけでなく、どのようなものでも読める力を育み、教わったこととともに、教わっていないことにも対応できることをめざし、実践の協議にあたりました。授業実践の検討を含め協議を重ねる中で、互いの考えを共有し、チームとして考えを形成したか。この過程を中心に提案を行っていきたいと考えています。

時間の都合上、実践の全てを紹介はできないと思いますが、各実践に使用している教材は以下の通りです。当日の提案では、それぞれの教材に「比較」の具体として取り上げた作品も提示します。

・中1「少年の日の思い出」(渡邊裕) ・高校「名人伝」(扇田浩水)

参加費 無料 ※学会員の方は年会費(一般3000円、学生2000円)をいただきます。
※年会費の納入方法につきましては、別途お知らせしています。

- ・本学会は、国語科教育に関心のお持ちの方ならばどなたでも入会できます。
- ・本学会に関するお問い合わせは、学会事務局(東京学芸大学附属大泉小学校・上田真也 ueshin@u-gakugei.ac.jp)までお願いいたします。
- ・第3回例会は、10月8日(土)にオンライン(zoom 会議室)にて行います。